

◆ 第9回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 市長あいさつ3 委員紹介4 事務局からの説明<ol style="list-style-type: none">(1) 前回会議における意見と対応(2) パブリックコメントにおける意見と対応(3) 前回会議以降の取組(4) 令和4年度の取組5 意見交換6 閉会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>
<p>委員の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none">● 中心市街地の将来の姿を示した VR 動画を YouTube、SNS、ローカルメディア、デジタルサイネージなどを活用して発信し、多くの市民から意見をもらおうと良い。● 5年～15年後の将来のまちの姿を見せることも大切だが、もう少し短期的なスケジュールを出して、市民がイメージしやすくすることが大事である。● 社会実験では、企画段階から意見を出してくれる人達と連携していくと、取組が市民に伝わるし、前向きに取り組んでくれる人達が多く集まってくれると思う。● 社会実験は道路空間を利活用する新たな取組ということで、比較的評判が良いと聞いている。道路空間の新たな利活用は全国的にも注目されているので、進めていくと良い。● 社会実験の意図が十分に市民に伝わっておらず、市がイベントをやっていると思っている人もいる。● 社会実験では事前の告知が非常に大事ではあるが、初めはどう告知しても知らなかったという人は多く出てくるので、まずはやってみることが大事である。● 市民の理解や一緒に取り組むメンバーを増やしていく上でも、社会実験をやってみることが重要だと思う。● 屋外で過ごすことに慣れることが大事なので、社会実験は定期的にやってもらいたい。● ポストコロナの新しい生活様式を把握する上でも、社会実験をやりながら市民の意見を聞くことが重要である。● くつろぎ空間に欲しいのは、花と緑と Wi-Fi と電源である。これから、さらに心地よい空間にしていくために環境を整えていく必要がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>